



平成 20 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 7 月 12 日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン

（コード番号：7608 東証・大証各第 1 部）

（URL <http://www.sk-japan.co.jp>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 久保 敏志
責任者役職・氏名 取締役管理部長 川上 優

T E L : (06) 6765 - 0670

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計上基準について一部簡便な方法を採用しております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結および持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 20 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 5 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 2 月期第 1 四半期	3,858	4.6	156	5.5	153	0.5	30	61.7
19 年 2 月期第 1 四半期	4,045	-	148	-	152	-	79	-
（参考）19 年 2 月期	15,861		602		612		356	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 2 月期第 1 四半期	3	66	3	66
19 年 2 月期第 1 四半期	9	65	9	61
（参考）19 年 2 月期	43	09	42	96

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

なお、平成 18 年 2 月期に決算期を変更したことに伴い、平成 18 年 2 月期第 1 四半期と平成 19 年 2 月期第 1 四半期が期間対応していないため、平成 19 年 2 月期第 1 四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当四半期の状況は、卸売事業はアミューズメント業界向け販売部門が順調でありましたが、小売事業が低迷したことにより、売上高は 3,858 百万円（前年同期比 4.6% 減）、経常利益は 153 百万円（前年同期比 0.5% 増）となりました。なお、非上場会社の投資有価証券について評価損を 90 百万円計上したため、四半期純利益は 30 百万円（前年同期比 61.7% 減）となりました。

【事業の種類別セグメントの状況】

〔卸売事業〕

アミューズメント業界向け販売部門では、メーカー系オペレーターや路面店を中心とした多店舗展開している取引先への販売が好調に推移しました。また、商品面では昨年末から発売しました「コスチュームキューピー」が引き続き好評であり、これにゲームソフトのキャラクターであるスーパーマリオブラザーズの「ベビーマリオ」や、テレビのクイズ番組のキャラクターである「世界不思議発見！ヒトシ君」等の新キャラクターが売上高の増加に貢献しました。これらの要因により売上高は 1,734 百万円（前年同期比 5.5% 増）となりました。

S P 部門では、景気の回復基調を背景とした企業の広告・セールスプロモーション活動の活性化を追い風に、外食チェーン店のキャンペーン用景品や雑誌の付録等が決まりました。これらの要因により売上高は 295 百万円（前年同期比 95.7% 増）となりました。

物販業界向け販売部門では、チェーン店への積極的な営業に加え新規得意先の売上増が寄与いたしました。商品面では携帯ストラップや身のまわり雑貨が新規商材の不足により落ち込みましたが、コンビニエンスストア向けの企画商品の増加や品揃えの拡充を進めた結果、ホビー系商品が大きく伸長し売上高は 525 百万円（前年同期比 2.8%増）となりました。

以上の結果により、売上高は 2,555 百万円（前年同期比 10.8%増）、営業利益は 176 百万円（前年同期比 17.1%増）となりました。

〔小売事業〕

小売事業では、利益率は上昇したものの、前年度に閉店した枚方市駅店、京都河原町店、ワンダーゲート伊川谷店の売上減少分を新店舗である伊川谷店、神戸ハーバーランド店でカバーできませんでした。

以上の結果により、売上高は 1,302 百万円（前年同期比 25.1%減）、営業損失は 19 百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年2月期第1四半期	6,079	3,154	51.8	377 67
19年2月期第1四半期	5,965	2,937	49.2	355 17
(参考)19年2月期	5,224	3,185	60.9	382 47

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年2月期第1四半期	385	39	174	1,073
19年2月期第1四半期	150	158	104	992
(参考)19年2月期	106	251	15	553

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より 520 百万円増加し、1,073 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、385 百万円となりました。

これは主に売上債権の増加および棚卸資産の増加等があったことにより一部相殺されたものの、仕入債務の増加等があったことを反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、39 百万円となりました。

これは主に投資有価証券の取得による支出および保険積立による支出等があったことを反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、174 百万円となりました。

これは主に短期借入金の返済による支出等があったことにより一部相殺されたものの、短期借入れによる収入等があったことを反映したものであります。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

中間期および通期の業績予想につきましては、概ね平成 19 年 4 月 12 日発表の予想どおり推移しており変更はありません。

〔添付資料〕

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年2月期) 第1四半期末	当四半期末 (平成20年2月期) 第1四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年2月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)				%	
流動資産					
現金及び預金	992,183	1,073,828	81,645	8.2	553,170
受取手形及び売掛金	1,455,595	1,622,810	167,214	11.5	1,424,381
棚卸資産	1,297,045	1,243,355	53,689	4.1	1,093,594
繰延税金資産	148,909	118,260	30,649	20.6	97,848
その他	169,141	201,256	32,115	19.0	161,913
流動資産合計	4,062,874	4,259,512	196,637	4.8	3,330,908
固定資産					
有形固定資産	629,609	614,676	14,933	2.4	624,758
無形固定資産	7,901	8,002	100	1.3	8,110
投資有価証券	262,953	193,360	69,592	26.5	276,775
保証金	544,374	474,265	70,109	12.9	507,342
保険積立金	308,821	349,625	40,804	13.2	332,081
繰延税金資産	141,934	175,478	33,544	23.6	139,236
その他	7,464	4,406	3,057	41.0	5,293
固定資産合計	1,903,060	1,819,816	83,243	4.4	1,893,598
資産合計	5,965,934	6,079,328	113,394	1.9	5,224,507
(負債の部)					
流動負債					
買掛金	1,845,655	1,771,060	74,595	4.0	1,048,812
短期借入金	322,000	530,000	208,000	64.6	352,000
未払金	286,658	148,562	138,096	48.2	157,830
未払費用	62,020	61,410	609	1.0	58,754
未払法人税等	86,944	83,816	3,128	3.6	176,062
賞与引当金	114,313	121,604	7,290	6.4	64,785
その他	205,223	112,881	92,341	45.0	84,205
流動負債合計	2,922,815	2,829,336	93,479	3.2	1,942,451
固定負債					
退職給付引当金	80,229	70,289	9,939	12.4	71,055
預り保証金	25,220	25,220	-	-	25,220
固定負債合計	105,449	95,509	9,939	9.4	96,275
負債合計	3,028,265	2,924,846	103,419	3.4	2,038,726
(純資産の部)					
純資産合計	2,937,669	3,154,482	216,813	7.4	3,185,780
負債、純資産合計	5,965,934	6,079,328	113,394	1.9	5,224,507

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 〔平成19年2月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年2月期〕 第1四半期	増 減		(参考)前期 (平成19年2月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	4,045,848	3,858,387	187,460	4.6	15,861,901
売上原価	3,041,831	2,895,146	146,684	4.8	11,879,907
売上総利益	1,004,017	963,241	40,776	4.1	3,981,994
販売費及び 一般管理費	855,687	806,701	48,985	5.7	3,379,735
営業利益	148,329	156,539	8,209	5.5	602,259
営業外収益	8,505	5,672	2,833	33.3	32,774
営業外費用	4,118	8,787	4,669	113.4	22,709
経常利益	152,717	153,423	706	0.5	612,324
特別利益	-	-	-	-	46,090
特別損失	-	91,142	91,142	-	774
税金等調整前四半期 (当期)純利益	152,717	62,281	90,436	59.2	657,640
税金費用	72,936	31,756	41,179	56.5	301,091
四半期(当期)純利益	79,781	30,524	49,256	61.7	356,549

3. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成 19 年 2 月期 第 1 四半期)

(単位: 千円)

	卸売事業	小売事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,306,539	1,739,309	4,045,848	-	4,045,848
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26,279	306	26,586	26,586	-
計	2,332,819	1,739,615	4,072,434	26,586	4,045,848
営業費用	2,181,718	1,738,830	3,920,548	23,029	3,897,518
営業利益	151,100	785	151,886	3,556	148,329

当四半期 (平成 20 年 2 月期 第 1 四半期)

(単位: 千円)

	卸売事業	小売事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,555,591	1,302,796	3,858,387	-	3,858,387
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26,225	6	26,232	26,232	-
計	2,581,817	1,302,803	3,884,620	26,232	3,858,387
営業費用	2,404,879	1,322,466	3,727,345	25,497	3,701,848
営業利益	176,937	19,663	157,274	734	156,539

(参考) 前期 (平成 19 年 2 月期)

(単位: 千円)

	卸売事業	小売事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,501,327	6,360,574	15,861,901	-	15,861,901
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	118,324	770	119,095	119,095	-
計	9,619,652	6,361,344	15,980,997	119,095	15,861,901
営業費用	9,052,955	6,324,319	15,377,275	117,632	15,259,642
営業利益	566,697	37,025	603,722	1,462	602,259

(注) 1. 事業区分は、販売方法の類似性を考慮し、卸売事業、小売事業に区分しております。

2. 各事業区分の主な役務

(1) 卸売事業・・・キャラクターグッズ等のアミューズメント施設・物販専門店・量販店等への卸販売、企業向け販売促進商品等の企画販売および電子玩具・電子雑貨等の企画開発

(2) 小売事業・・・キャラクターグッズ、化粧品、コスメティック、家電商品等の小売

3. 営業費用のうち、配賦不能営業費用はありません。